

くらしのメニュー おたより 108号

令和3年7月1日

私のひとりごと

石丸博巳

(この「おたより」は先月25日に書いているので今日のように変わっているのかは分かりません)

今日は7月1日。今月の23日には東京オリンピックが始まるのです。本来は楽しいことで、ワクワクしながら心弾ませているはずだし、アスリートたちにとっても4年に一度の、しかも東京で開催されるオリンピックなので、何としても開催してほしいと願っているでしょう。ほとんどの国民はオリンピックを見たいというのが本音だと思います。



でも、この世界的なコロナの中で開催しても良いのか・・・と言う不安があります。ワクチンの接種は何とか進んでいるものの、1回接種だけでもまだ国民の20%程度のもので。

「人類がウイルスに勝った証」とか「安全・安心のオリンピックを開催します」としか言ってこなかった菅総理大臣。僕は国民に対して彼の考える「安心・安全」の本当の意味を心から伝えてこなかった、そのことが国民の不安感を掻き立ててきたのだと思います。

菅首相の国民に向かう姿勢態度が根本にあって、心から国民に向かう姿勢が見えたら、まじめな日本人ですから首相に対する信頼感が生まれて、首相の言う事を信じようとしたのだと思いますが、このままなら、安全・安心どころか、外国から来たアスリートたちも規制ばかりで外に出ることすら出来ない不満だらけのオリンピックになってしまう、日本に対する印象も低下してしまいますよね。

今月の写真紹介

古民家を宿泊施設に蘇らせたリフォーム
三国町南本町 湊で暮らす宿「んだこ」様



施主様の言葉

“夢だった宿泊施設”

今から10年程前、アレックス・カーと言うアメリカの人が、徳島県祖谷にある古民家を改修した宿泊施設を見学させて頂いた時「いいなあ～俺もやってみよう」と漠然と思ったのが夢の始まりだったような気がします。

“よし、やってみよう！”と思ったのは、友や兄との別れ、人間いつ死ぬか分らんのならやりたいことをやろうと決めました。

Hさんには物件を探してもらい、Yさんには無償でコーディネーターしてもらい、本当にいろんな人達に助けて頂いて、ようやく



内部の通路
笏台石を下からライトアップした
ガラスの通路とキッチン

「んだこ」と

言う宿泊施設が完成しました。

Yさんには収支シュミレーションもして頂きましたが、初年度は月に5～7万円の赤字と言う残念な予想となりました。

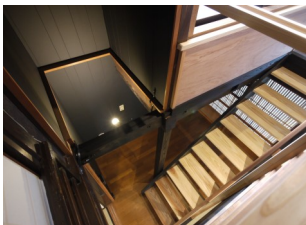
しかし、やりたいことが出来るので、まあまあ幸せかな？

「んだこ」が三国の賑わいづくりに少しでも貢献できればと思っています。これを読まれた皆様方には、宿泊施設「んだこ」を今後ともあたたかく見守って頂きますようお願いいたします。 小針悟様

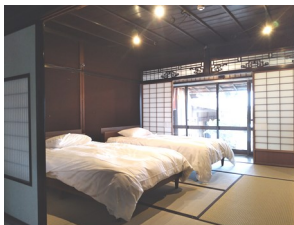
湊で暮らす宿「んだこ」様のご紹介

“んだこ”様は三国町内の古い民家を利用してリノベーションした一棟貸しのゲストハウスです。三国祭にはメイン通りとして山車をまじかに見るのできる宿泊施設です。施設全体を自由にご利用でき、その中でんびりと料理を楽しみゆつたりと過ごせる

場所です。三国の町並みを楽しむ施設として、是非一度ご利用ください。



吹抜けの階段



庭と九頭竜川を望むベッドルーム

いつまでも安心して暮らせますように

株式会社 **石丸ハウスセンター** TEL 82-5533
一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

あとがき

“んだこ改修工事”と頂いた図面の表紙に書いてありました。みんな、「“んだこ”ってなんやろ」と不思議顔。55年前に中学校に入学した私は、安島から来ている友達の話を安島が全く分かりませんでした。「我が家」と言う意味の「んだこ」。その頃が懐かしく思えるタイトルでした。最近聞かないのがなんとなく寂しいですね。